

研究公正高度化モデル開発支援事業における事後評価結果（平成 28 年度開始～平成 30 年度終了課題）を公表します。

事後評価の目的

研究開発課題等について、実施状況、成果等を明らかにし、今後の展開及び実用化に向けた指導・助言等を実施することを目的としました。

課題評価委員会

開催日：平成 30 年 12 月 11 日

課題評価委員一覧

氏名（敬称略）	所属機関・職名（当時）
浅島 誠	帝京大学 特任教授
片倉 啓雄	関西大学化学生命工学部 教授
新谷 由紀子	筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 准教授
田代 志門（PO）	国立がん研究センター 研究支援センター生命倫理部 部長
中村 征樹	大阪大学全学教育推進機構 准教授
札幌 順（PS）	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 教授
吉田 雅幸（委員長）	東京医科歯科大学生命倫理研究センター長 教授

（氏名 50 音順に記載）

評価項目

1. 研究開発達成状況について
2. 研究開発成果について
3. 実施体制
4. 今後の見通し
5. 総合評価

対象課題

プログラム①：研究倫理教育に関するモデル教材・プログラム等の開発

研究開発課題名	所属機関	代表者
利益相反管理に関する理解と知識の充実を目指した教育プログラム（研修教材）の開発と普及	東京医科歯科大学 教授	飯田 香緒里
医系国際誌が規範とする研究の信頼性にかかる倫理教育プログラム	信州大学 特任教授	市川 家國
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラム	東京医科歯科大学	江花 有亮

等の開発	講師	
倫理審査の質向上を目的とした倫理審査委員向け教材の開発	東京大学 准教授	神里 彩子
研究データの信頼性確保に関する教育機能と受講者の評価尺度を備えた履修管理システム	京都府立医科大学 教授	瀬戸山 晃一
学習事例の動的生成による効果的な臨床研究倫理教育プログラムの開発	京都府立医科大学 センター長	伏木 信次
研究倫理の向上を目指した研修教材・プログラムの開発	慶應義塾大学 教授	前田 正一
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラムの開発	国立循環器病研究 センター 部長	松井 健志

(代表者 50 音順に記載)

プログラム②：研究公正の取組み強化のための調査研究

研究開発課題名	所属機関	代表者
医療分野における研究不正行為に関する意識調査及び心理的要因分析	長崎大学 准教授	河合 孝尚

評価結果の概要

総合評価の結果は、計画を超えて大変進捗が 1 件、計画を超えて進捗が 4 件、計画どおりに進捗が 2 件、計画どおりに進捗していない部分があるが概ね計画どおりに進捗が 1 件、計画どおりに進捗していない部分が複数あるが 1 件であった。

以上